



CherryPicker[®]

アプリケーション・プラットフォーム

CAP-1000

高性能、高信頼性、高拡張性

MPEG-4 AVCプレプロセッシング
グルーミング、スライシング、プロセッシング中心の統計的リマルチプレキシングの実行

モトローラのCherryPickerアプリケーション・プラットフォーム(CAP)は、最先端のIP中心のアーキテクチャであり、高密度デジタルビデオ・ソリューションを構築するために必要な性能、拡張性、信頼性を、サービスプロバイダに提供できるように設計されています。

非常に大きな帯域幅

小型の1RUシャーシで、最大2Gbpsのアグリゲート・ビデオストリームのスループット

CherryPicker製品ラインの新製品CAP-1000は、ビデオストリームの管理とローカライズに、究極の効率性と柔軟性をビデオ・サービスプロバイダに提供します。

キャリアクラスの信頼性

冗長でホットスワップ可能な電源、ホットスワップ可能なファン・トレイおよびフィールド交換可能な入出力と処理モジュール



将来の保証

プログラマブルDSPアーキテクチャとDM6400の8倍の処理性能を組み合わせ、簡単なソフトウェア・アップグレードによって、進化する技術標準と新しいアプリケーション・ニーズへの対応

CAP-1000は、リアルタイムブロードキャスト品質のMPEG-4/AVCおよびMPEG-2のSDとHDのストリームのレート・シェーピング(Rate Shaping: 帯域制御)用のソフトウェア・アプリケーションを提供します。また、グルーミング、デジタリング、シームレスにローカライズされた広告挿入などのアプリケーションも実行でき、スイッチド・デジタルビデオ、VODプレイリスト広告、IPTV、バルク暗号化などのミッションクリティカルな機能をサポートするのに必要な性能を備えています。

10年間のイノベーションと実績

エミー賞受賞のCherryPicker製品ラインのソフトウェアの80%以上を継承し、相互運用性と運用面の使い易さを実現

CAP-1000は、先進的な技術標準と、新たに生まれるアプリケーション・ニーズを、簡単なソフトウェア・アップグレードでサポートする高度にプログラム可能なデバイスを提供することによって、顧客は初期投資の回収を実現することができます。

運用を配慮して設計されたCAP-1000は、冗長でホットスワップ可能な電源、ホットスワップ可能なファン・トレイを使用し、1: 1とN: 1の冗長性でフィールド交換可能な入出力カードと処理モジュールによって、大きなストリーム数に必要な高可用性を、スペース・電力節約型の1RU(ラックユニット)の筐体内で実現しています。

SPECIFICATION SHEET

CHERRYPICKER® アプリケーション・プラットフォーム

広範な相互運用性

- MPEG-4 AVCとMPEG-2
- SPTSとMPTS
- ASI とイーサネットI/O
- UOP/IP/RTP上のユニキャストとマルチキャストのARP、ICMP、IGMPv3
- QoSとVLANタグging IEEE 802.1p, 802.1q

シームレスなプログラムのスプリングとスイッチング

- 高信頼性のHDとSDのデジタル広告挿入
- SCTE 35 / 30標準

包括的リマルチプレキシング

- PIDのフィルタリングとリマッピング
- PCRのデジタリングとリスタンピング
- PATとPMTのコンピューテーション帯域挿入
- データ挿入
- 最先端のダイナミックSI / PSI処理
- データとビデオの同期

最先端処理

- CBRからVBRへの変換
- VBRからCBRへの変換(レートクランプVBR)
- ビットレート変換(CBRから CBR、VBRからVBR)
- SD/HDレート・シェーピング
- グルーミングとリグルーミング

柔軟な管理と監視

- 最先端のプログラム分析およびビットレート測定
- 全GbEポート経由のアクセス
- XMLコンフィギュレーション
- SNMPのトラップとステータス
- HTTP Webブラウザ・コンフィギュレーション
- ローカルとリモートのログ

CAP-1000は、集中型IPネットワーク内で、キャリアクラスの信頼性で稼働し、最大2Gbpsのアグリゲート・ビデオストリーム・スルーputに対応する大きな処理能力を提供します。

柔軟性を最大にするために、モトローラは、CAP-1000のハードウェア・エレメントをソフトウェア・レイヤーから抽出して、セッション・ベースの暗号化、デジタル・ウォーターマーキング、フォワード・エラー・コレクション(FEC)、モーション・グラフィックス・オーバーレイ、ビデオ・スケールリングなどの機能を実現し、今後のソフトウェア・リリースで提供します。

ビデオ

MPEG-4 AVC、メイン・プロファイル、最大レベル4のMPEG-2 MP@ML, MP@HL

- HD: 1080i x 1920/1440, 30fps
- HD: 720p x 1280, 60fps
- NTSC: 480i x 544/528/480/352, 29.97fps

オーディオ

- Dolby AC-3
- MPEG-2レイヤー I / II
- AAC

入出力ポート

イーサネット

- (4)銅線RJ45 1000Base-T
- (4)光LC SFPコネクタ 1000Base-SX/LX
- シングルモードおよびマルチモードの光トランシーバのサポート

DVB-ASI

- (4)または(8)のBNCコネクタ
- 各ポートは、入力、主要出力またはミラーリング出力としてプログラム可能

コントロール / コンソール

- WebベースのGUI
- SNMPサポート
- Micro-D 15ピン・メールコネクタ付きのGPIO、2個の入力、2個の出力
- RJ-11ポート付きの56kbps V.92モデム
- 4PACシリアル・コンソール・メンテナンスポート
- 初期IPコンフィギュレーション用のRJ-45 GbE デバッグポート

諸元

- 外形寸法 1RU(1.75インチ)
19インチラックマウント可能
奥行59.7 cm、幅39.4 cm、高さ4.4 cm
(ラックの取手とコネクタを除く)
- 重量 約14 Kg
- 入力電圧 100 ~ 240 VAC
- 消費電力 3.5アンペアVAC
120V、60Hz
最大350ワット
- 周波数 50 ~ 60Hz
- 動作温度 0 ~ 50°C
- 冷却 側面から側面
- 湿度 5 ~ 95%(結露なきこと)
- 製品安全認証 UL、CB、CE、VCCI、TUV、FCC、
CISPR 22クラスA、ROHS
- NEBS レベル1対応



MOTOROLA

モトローラ株式会社

〒141-6021 東京都品川区大崎2丁目1番1号 シンクパークタワー

<http://www.motorola.com/jp>

モトローラ、MOTOROLAおよびモトローラのロゴマークはMotorola, Inc.の登録商標です。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。©Motorola, Inc. 2009. All rights reserved.

200906